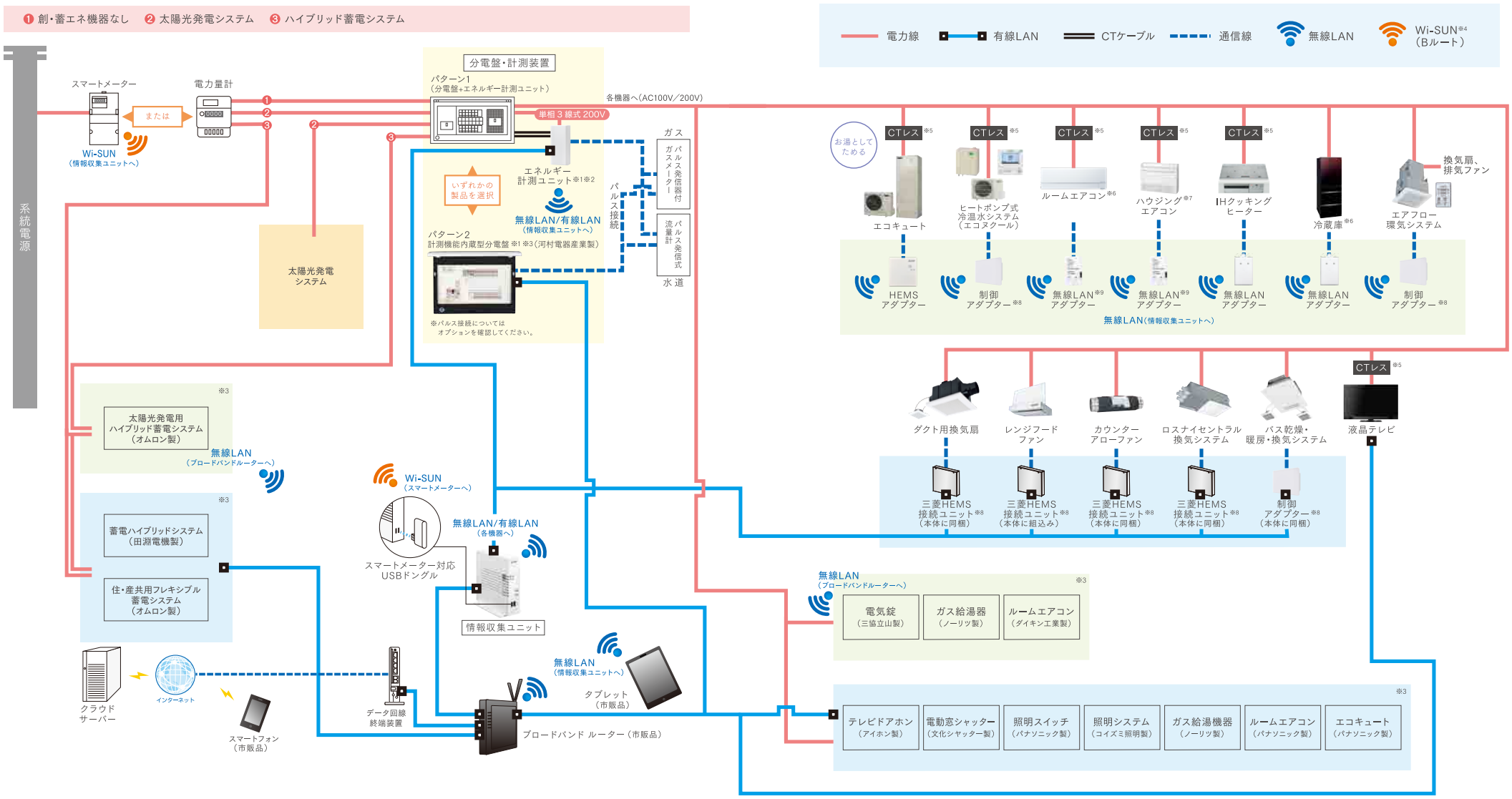
システム構成図

くらしのニーズに合わせた「選べる創エネ・蓄エネ」

❶ 創・蓄エネ機器なし　❷ 太陽光発電システム　❸ ハイブリッド蓄電システム



【情報収集ユニット】
●AC100V（アダプター）の電源が必要です。●情報収集ユニットとブロードバンドルーターは1対1に接続してください。

【エネルギー計測ユニット】
●分電盤付近に設置してください。分電盤との離隔距離はCTケーブルの長さが最大10mのため最大10mです。●単相3線200Vの電源が必要です。エネルギー計測ユニット用の専用ブレーカを設置してください。●エネルギー計測ユニット1台にCTは最大16個まで接続できます。主幹ブレーカはCT2個、太陽光発電システム・その他の機器はCT1個で計測します。●CTが17個以上必要となる場合、エネルギー計測ユニットを2台手配してください。エネルギー計測ユニットは3台以上は接続できません。

【スマートフォン・タブレット】
●OSのバージョンは、ホームページに掲載されているバージョンを使用ください。（www.MitsubishiElectric.co.jp/home/hems/product/st03/list.html）
●三菱HEMS専用のアプリをスマートフォン・タブレットにダウンロードする必要があります。　●スマートフォン用アプリは宅内・宅外操作に対応しています。タブレット用アプリは宅内操作専用です。

【その他】
●三菱 エコキュート（貯湯ユニット）が屋外設置の場合は、別途、HEMSアダプターの屋内引き込み工事が必要になります。●ヒートポンプ式冷温水システム（エコヌクール）本体が屋外設置の場合は、別途、制御アダプターの屋内引き込み工事が必要になります。●LANケーブルはCAT5e以上を使用してください。
●他社対応機種の詳細は「対応機種一覧（P.35）」、「他社対応機種を接続する場合のシステム構成図（P.37）」をご覧ください。

※1：エネルギー計測ユニットと計測機能内蔵型分電盤の併用はできません。
※2：エネルギー計測ユニットおよび計測ユニットと情報収集ユニットとの接続は有線LAN／無線LANいずれかを選択します。
※3：他社機器については当社が品質保証するものではありません。接続が可能な他社機器は予告なく変更する場合があります。
※4：Wi-SUNはWi-SUN Allianceの登録商標です。
※5：CTレス対応機器はCTセンサー等が不要で個々の電力消費量を計測可能です。
※6：無線LANモジュールを内蔵した機種には無線LANアダプターは不要です。
※7：室内機と室外機を1対1で接続した場合に限ります。
※8：別御アダプター、三菱HEMS接続ユニットはAC100Vの電源が必要となります。
※9：HM-W002-ACは三菱HEMSのみ接続が可能です。MAC-900IFは三菱HEMSあるいは霧ヶ峰REMOTEとの接続が可能です。